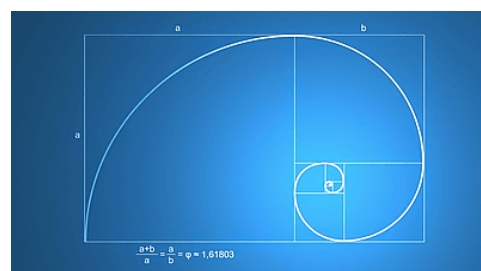


「理数」から「数理情報」へ

○ 「数学」を理解する

- ・数学や自然科学への興味関心を伸ばします。
- ・1年次に、数理情報科で学ぶ数学に必要な基礎的概念を学習します。



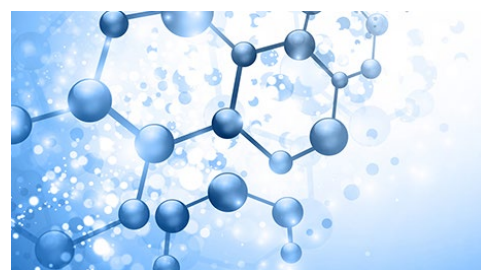
○ 「情報」を活用する

- ・情報に関する分野では高度な情報活用能力を育み、将来の科学技術を支える人材の育成を目指します。



○ 「研究」を体験する

- ・奈良先端科学技術大学院大学情報領域との提携を活用して、生徒が大学にも赴き継続的に研究を行います。



◇ 数理情報科での学び

- ・数学、理科の授業に重点をおき、実験、大学や研究施設への研修、大学の先生による講義などを行います。
- ・1年次に、数学、理科、情報等、これからサイエンスを学ぶうえで最も必要な数学の分野である「微分・積分」などの考え方を『理数数学序論』で学び、科学の基礎を身に付けます。
- ・サイエンスに関することを学外で見聞できる機会が多いのが数理情報科です。
- ・『課題研究』の授業で、テーマを設定して1年間かけて研究します。

◇ 数理情報科での3年間

▽ 1年次

- ・大学などへの校外研修を行い、研究室を見学します。
- ・数学、理科の授業時間が充実し、理科の実験も多くなっています。



▽ 2, 3年次

- ・2年次から数理科学コースと情報科学コースに分かれます。

数理科学コース

- ・『課題研究』の授業で、物理、生物、化学の分野から一つ選び、研究テーマを設定して1年間かけて研究します。



情報科学コース

- ・『課題研究』の授業で、奈良先端科学技術大学院大学情報領域の研究室において、数学的な手法を生かした研究テーマを設定して1年間かけて研究します。



☆ Q & A

Q1 数理科学コースと情報科学コースの卒業後の進学先はどうなりますか。

A1 ①どちらのコースからも、理学、工学、情報工学をはじめ、医学、歯学、薬学、農学等理系大学への進学を目指します。

②両コースとも、課題研究等で培った技術、身に付いた知識、能力等を受験に生かすことが可能です。

Q2 数理情報科の選抜は特色選抜ですか。また調査書や当日の配点はどのようになっていますか。

A2 ①既に奈良県教育委員会から発表されているように、入試は一般選抜で行われます。

②学力検査点数 300点 当日学力検査は国語、社会、数学、理科、英語の5教科です。数学と理科の得点（各50点満点）をそれぞれ1.5倍し国語、社会、英語（各50点満点）の合計点に加えます。

③調査書の成績の満点は165点 加重配点は 数学（15）理科（15）です。